



旅行会社のオーナーが教室でご挨拶

パンチャサリ村の観光専門学校を訪問。 交流旅行実現のための一歩です。

パンチャサリ村には観光の専門学校があります。インドネシアの義務教育は日本と同様中学までで、村の人達は中学を卒業すると働か専門学校へ進学する人が多いようです。

今回は、バリの村人との交流旅行の実現計画を30年来あたたためてきたアジアアシスト社のオーナーと一緒に訪問しました。先生や生徒に今後の抱負を熱く語りかけ、大歓迎を受けました。これからの旅行企画実現に向けて、有効な一歩となりました。

ケアリゾートバリは研修生を受け入れています。

この専門学校からしょっちゅうケアリゾートバリでは研修生を受け入れています。次代を担う学生の研修の場として、大いに活用してもらえることは、うれしいことです。「トレーニー」と書いた名札を付けたスタッフを見つけたら、是非声をかけてみてください。学校の募集パンフレットには実習先としてケアリゾートバリがシッカリ掲載されています。



学生達と一緒に、平川の左隣にるのが、学校で日本語の成績がナンバーワンの女子学生。「日本人より正しい日本語を話す！」と皆ビックリ！



専門学校の先生達。皆とても若くて明るい。学校が「カラテ」の競技会で優勝した時のトロフィーを嬉しそうに見せてくれました。

いよいよ日本企業による実験農場がスタート！

in Pancasari
Village

日本の企業が、パンチャサリ村の高原の気候を利用し、日本の技術指導の下、高品質な野菜作りを開始しました。既にバリ島の高級ホテルやスーパーマーケットへ卸し始めたそうです。日本の農業大学の先生などが来訪し、ケアリゾートバリ



にもお泊まりいただいています。美味しい野菜を分けてもらえるように今度お願いしてみようと思っています。



大きなビニールハウスと屋外の畑で栽培。何種類か植えられ順調に育っています。場所は、ハンダラ廣濟堂ゴルフ場のすぐ近くです。